

あいち農産物生産流通レポート

令和2年11月号

	ページ
◎ 地域トピックス	
・ 花をもっと身近に！あいち花マルシェ2020、まもなく開催	(西三河農林水産事務所) 1
・ 地元生産者を応援！スプレーマム&つまものあっせん販売を開催	(東三河農林水産事務所) 2
◎ 東日本情報	
・ 気象災害等に備えてBCPをつくる	(東京事務所) 3
◎ 西日本情報	
・ 「夕焼け姫」のブランド化協議会の取組について	(園芸農産課) 5
◎ フラワーページ	
・ 「第14回国際ガーデンEXPO」が開催	(東京事務所) 6
◎ 青果	
・ 愛知産青果物の動向(名古屋・東京市場)	7
・ 名古屋・東京市場における青果物の11月の見通し	8
◎ 花き	
・ 切花・鉢花の11月の見通し(県内市場)	20

※今月、「情報サロン」はありません。

内容についての問合せ先

愛知県農業水産局農政部食育消費流通課

(052)-954-6434

愛知県東京事務所行政課農産物プロモーショングループ

(03)-5492-5400

花をもっと身近に！あいち花マルシェ 2020、まもなく開催

西三河農林水産事務所

愛知県は 57 年連続、花の産出額日本一を誇る「花の王国」です。このたび、花に広く親しんでもらうため、本県の素晴らしい花を見て、触れて、購入できる「あいち花マルシェ 2020」が安城市で開催されます。

1 あいち花マルシェ 2020 について

(1) 期日

令和 2 年 11 月 20 日（金）から 23 日（月・祝）（期間中に限り入園無料）

(2) 場所

安城産業文化公園デンパーク（安城市赤松町）

(3) 主な内容

ア 花の展示：フラワーモニュメント、あいちフラワーコンテストなど

イ 花・農産物販売：地元農家や J A による直売、ブーケ実演販売など

ウ 花の体験講座：花のキャンドル作りなど

エ その他：飲食ブース、アウトドア遊具など

(4) オンライン企画について

自宅でも楽しめるよう「オンライン花マルシェ（県産の花のネット販売）」「子どものための花育動画」が設けられました。詳細はあいち花マルシェ 2020 ホームページ (<https://aichi-hanamarche.com/>) を御覧ください。



フラワーモニュメント
(イメージ図)

2 地元小学生とともに会場へ飾る寄せ植えを作りました

イベント開催に先駆けて、10 月 22 日（木）に安城西部小学校において、安城市の花の生産者ら 4 名が講師となり、4 年生 85 名を対象とした寄せ植え体験会を行いました。

児童たちは、「花はこの向きでいい？」と試行錯誤しながら、ビオラやウィンターコスモスなど 5 種 6 鉢の花苗を用いて、1 人 1 プランターを完成させました。

先生からは、「新型コロナウイルスの影響で行事がいくつも中止となる中、児童たちに花に触れ楽しむ体験をさせてもらえて嬉しい」との言葉をいただきました。

寄せ植えは、1 か月ほど小学校で育てられた後、あいち花マルシェ 2020 期間中、デンパークに展示されます。会場に彩りを添えると同時に、イベント参加を通して、子どもたちに花に親しんでもらうことを期待しています。



児童たちが楽しむ様子

地元生産者を応援！スプレーマム&つまものあっせん販売を開催

東三河農林水産事務所

新型コロナウイルス感染症の拡大により、愛知県が全国1位の産出額を誇る花きとつまものの需要は減少し、主要産地である東三河地域の生産者は大きな影響を受けています。こうした生産者を応援するため、令和2年9月24日（木）に、東三河県庁管内に勤務する職員に対し、「スプレーマム」と「つまもの」のあっせん販売を行いました。

1 花を楽しもう！「Enjoy Flower in 東三河」

令和2年度4回目の「Enjoy Flower in 東三河」を開催しました。今回は豊川市で生産されたスプレーマムのあっせん販売を行い、180束の注文がありました。参加者からは、「地元産の花を買って応援したい」「第1回から参加しているが、いつもどんな花が来るのか楽しみにしている」といった感想があり、好評でした。



受け渡しの様子



スプレーマムの花束
(協力：JAひまわり)

2 「つまものを食べよう！ in 東三河」

令和2年度3回目の「つまものを食べよう！ in 東三河」を開催しました。今回は、豊橋産の大葉、しその実、バジル、エディブルフラワーのセットのあっせん販売を行い、160セットの注文がありました。参加者からは、「あまり食べたことがない」という声も聞かれましたが、「付属のレシピを見ながら使ってみる」といった声もありました。



付属のレシピ
(提供：豊橋温室園芸農業協同組合)



大葉、しその実、バジル、エディブル
フラワー (協力：豊橋温室園芸農業協同組合)

今後、東三河農林水産事務所では、2月にフラワーバレンタインとしてバラのあっせんを行う予定です。今後も引き続き市や関係団体と連携して、花き、つまもの生産者をはじめとした農業者への支援に努めていきます。

気象災害等に備えてBCPをつくる

東京事務所行政課農産物プロモーショングループ

加工・業務用野菜の情報交換会セミナーが令和2年10月8日に野菜流通カット協議会の主催で横浜市において開催されました。気象災害や新型コロナウイルス感染症などに「そなえる」をキーワードに講演があり、その中から、農業生産法人が策定したBCP（事業継続計画）について紹介します。

1 なぜ農業においてBCPを策定するか

講師を務めた山田敏之氏は、九条ネギ・白ネギの生産・加工・販売を中心に京野菜の販売も手掛ける「こと京都株式会社」の代表取締役で、こと京野菜株式会社等のグループ会社を含めた「ことグループ」での売上は約20億円にのびります。

これまでは台風が来るとネギが倒伏し、それを片付ける、あるいは対策として倒伏防止ネットを立てたものの、ネットが倒れて余計に被害が大きくなることもありました。特に平成29年、30年に大きな被害を受け、1晩で200tものネギが倒伏し、出荷が長く続けられるよう日々のお荷量を抑えたにもかかわらず1か月半にわたりスーパー各社への出荷を休止するという事態となったそうです。大型化した台風により短期では回復しえないダメージを受けた経験から、「台風をなくすことはできないが、経営への影響を小さくすることはできる」という考えの元、台風等の緊急時に事業継続のために何を行うかを定めた「防災指針書」を策定することとしました。

2 「防災指針書」の構成

近年「想定外」と言われることが多くありますが、「想定に対して備え、想定を広げることで想定外にならないようにする」「自分の身は自分で守る。自分の会社は自分で守る」「共に行動する」をコンセプトに、こと京都株式会社、ことグループ各社のBCPと言える「防災指針書」（2020年度版）は、『1. 健康を守る「コロナ感染症対策」』、『2. 生活を守る「台風対策」』、『3. 命を守る「南海トラフ・東海地震対策」』の3部構成となっています。

各部で想定被害状況、基本的な考え方、時系列による各フェーズで誰が何をやるかの緊急時の体制等が記されています。2の台風対策では、被害状況としてインフラ及び会社への影響が想定されています（図1）。また、具体的にどうすれば被害を軽減できるのかを明らかにするためネギ生育曲線—限界線相関図を示し、被害を軽減するために初動段階に行うことと

本指針における緊急時の想定被害状況

台風(最大瞬間風速50m/s)で想定される影響

インフラへの影響	【ライフライン】 ・停電が発生し、電気が使えない ・地下水が汚濁して使えない	【情報通信】 ・固定電話、インターネットがつかない ・メールの送受信ができない
	【道路】 ・冠水や倒木の影響で通行規制 ・京都縦貫道が通行止めになる	【鉄道】 ・強風と大雨により運行休止 ・台風通過後から順次再開する
当社への影響	【人】 ・出勤前の従業員が通勤できない ・出勤中の従業員が強風で負傷する ・出勤者の帰宅ができない	【情報】 ・VPN接続ができないため、販売Qの使用ができない ・停電でPCやサーバーが使えず、受注出荷業務に支障が発生する
	【物】 ・全ての葱が完全に倒伏する ・圃場が冠水する ・ビニールハウスが破損する ・工場周りのコンテナ等が飛散する	【金】 ・出荷制限等実施後、売上が落ちる ・破損箇所等の修繕費用が発生 ・原料仕入れが増え支払いが増加

図1 台風対策における想定被害状況

して、①格納限界線を下げるための対策の実行、②倒伏限界線を上げるための対策の実行を2大戦略としています(図2)。

フェーズの第1段階は被害発生前の初動(台風最接近の1週間~10日前)で減災をテーマとし、第2段階の応急は被害発生後2週間でダメージコントロール、第3段階の復旧は被害発生後1~2か月で回復に向けた動きをとることとし、部署ごとに誰がいつ何をすることが表にまとめられています(図3)。

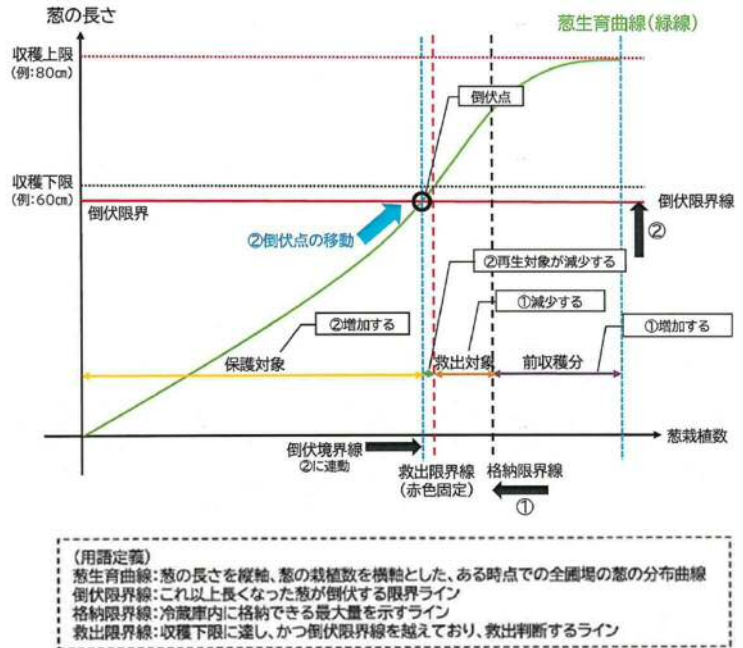


図2 ネギ生育曲線—限界線相関図と初動対策

防災指針2020(台風対策)時系列・部門別対策表

時系列	名部署ごとの対策											
	被害発生前						被害発生後					
	第1段階: 初動(1週間~10日)			台風通過時			第2段階: 応急(2週間)			第3段階: 復旧(1~2か月)		
フェーズ	台風発生時	減災	誰が	いつ	台風通過時	ダメージコントロール	台風通過2週間後	回復	誰が	いつ		
農産課	□被害予測共有	リーダー以上	台風発生時		□台風被害確認	リーダー以上	当日中	□被害状況確認	管理班	随時		
	□自社対策実施確認	リーダー以上	台風発生時		□現場・リアージ確認	リーダー以上	当日中	□生産量把握	リーダー以上	随時		
	→収穫調整・倒伏防止対策実施				→農出・保護・再生			□施肥・枯草	管理班	随時		
	□とちぎ会収獲調整実施	部長・班中・班員	1週間前		□農出・倒伏収獲	収穫班	随時	□風害処理	管理班	随時		
	□排水確認	管理班	1週間前		□保護・収獲計・除葉計の投入	管理班	3日以内	□倒伏防止資材整備・準備	全員	随時		
	□予備増産(クローラ)の点検	収穫班	1週間前		□再生・倒伏率収獲不可カット処理	管理班	保護処理後					
	□倒伏防止対策				□倒伏防止資材回収	全員	1週間後					
	→タフバンド設置 ※丈50cm以上対象	全員	1週間前		※必要な場合は継続							
	→防風・防ラウドネット設置 ※丈50cm未満対象	全員	1週間前									
	→風内リ	全員	3日前									
	※タフバンド・ネット設置(全員と設定して)											
	① 1.15ha/日×2日=2.3ha × 35t/分											
	□収穫(初めこみ)	全員	5日前									
	② 7t/日×5日 = 35t											
	③+②で、計70tを貯蔵											
→事前対策→												
□排水確認	管理班	7月末まで										
□肥料ロー	管理班	6月末まで										

図3 台風対策における時系列・部門別対策表(抜粋)

これまで台風通過後にはがっかりしながら残さ処理していた従業員が、防災指針書策定後は、台風前に前向きに収穫するようになったそうです。このBCP策定に向け、全員に対策を考えてもらうとともに、内容が周知徹底されていることも全員が前向きに一丸となれる要因だと思われます。

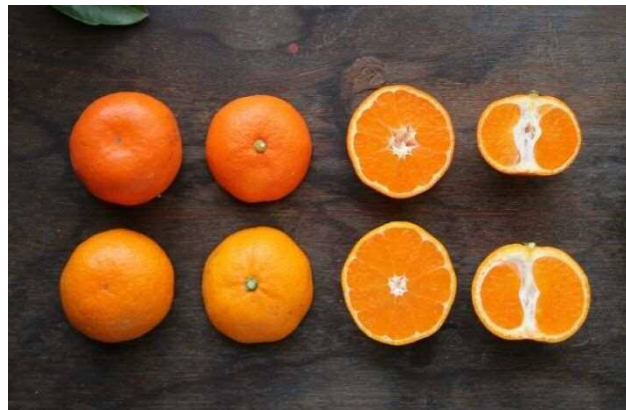
台風のみならず、近年はゲリラ豪雨が各地で頻発し、ひょうや竜巻で農業被害が発生することがあります。また、本県では南海トラフ地震の発生による大きな被害が懸念されています。農業生産は天候に負うところが大きいのは事実ですが、「天気には勝てない」「天気のせいでダメだった」ばかりでなく、BCPの策定などで非常時の行動をあらかじめ決めておくことで、いざというときに迷いのない行動をとり、負の影響を最小限に食い止められるように日ごろから備えていくことが重要だと思います。

「夕焼け姫」のブランド化協議会の取組について

園芸農産課

県農業総合試験場が開発したカンキツ「夕焼け姫」は、県内柑橘産地の主要品種である「宮川早生」に比べて、果皮の色が鮮やかな赤橙色で、早く成熟する特徴があり、11月中旬から味わえる愛知県オリジナル品種として期待されています。

本県では、この「夕焼け姫」をブランド化することを目的とし、「夕焼け姫ブランド化チーム（以下、ブランド化チーム）」を2019年6月に設立して、ブランド力向上に取り組んでいます。



上：夕焼け姫 下：宮川早生

1 ブランド化チームの概要について

ブランド化チームは、「夕焼け姫」の市場価値を高めるため、生産から流通・販売の関係者が一体となって取り組んでいます。

2020年からは新たに市町村が構成員に加わり、地域の新たな特産品の創出に向け、連携を強化しました。

(1) 構成員

愛知県（園芸農産課、農業経営課、農業総合試験場、農林水産事務所）、市町村、JA、JAあいち経済連

(2) 所掌

- ア 果実の高品質化に関すること
- イ シンボルマークの作成・使用基準に関すること
- ウ ホームページ等による情報発信に関すること
- エ PR資材の作成・貸出等に関すること
- オ その他「夕焼け姫」の普及拡大・ブランド化のために必要な事項に関すること

2 2020年度の活用予定

- (1) シンボルマークの使用開始
- (2) 専用PR資材の制作
- (3) 高品質果実の生産に向けた技術資料の配布
- (4) 消費者向け試食PR
- (5) TVや新聞等のメディアを介した情報発信



「第14回国際ガーデン EXPO」が開催

東京事務所行政課農産物プロモーショングループ

令和2年10月14日（水）から16日（金）にかけて、「第14回国際ガーデン EXPO」（主催：リード エグジビション ジャパン(株)）が幕張メッセ（千葉県千葉市）で開催されましたので、概要を紹介します。

1 ガーデン EXPO とは

ガーデン EXPO は園芸・造園に関する様々な出展者や商材が集まる商談会です。会場には、全国各地のホームセンター、小売量販店といった園芸商品を扱う業者のほか、造園業者等も来場し、商談や情報交換が活発に行われていました。



会場内の様子

2 園芸需要について学ぶ

このイベントでは、園芸関係者の講演会も開催されました。

園芸資材の製造・小売や園芸店経営を行う（株）プロトリーフの講演では、新型コロナウイルス感染症により生活環境が変わる中でのガーデニング需要について説明がありました。それによると、緊急事態宣言以降の自粛生活の中でガーデニングを始めた人は約250万人と推測され、そのうち20～30代が半数以上を占めること、こうした新しく始めた人が栽培や管理に失敗して離脱しないよう、店頭での説明や購入後のケアをしっかりと行わなければならないことなどが紹介されました。また、特に園芸を始めた若い世代の情報源はウェブサイトや動画サイト、SNS であるため、こうした点を重視する必要があるとのことでした。



園芸の情報発信に SNS を活用する業者も

花を飾ったり、ガーデニングを行ったりといった活動は、コロナ禍において盛んになっています。こうした動きが一過性のブームで終わらないよう、生産者サイドも積極的に商品のプロモーションや管理方法の説明に取り組み、園芸の魅力について伝えていく必要があると感じました。



インターネット販売に取り組む生産者

愛知産青果物の動向

「青果物の見通し」及び「花きの見通し」ページにおいて使用する『変動の幅を表す用語』につきましては、下記の基準で記載しております。

前年並 : ± 1%台以下
 わずか : ± 2%台以内
 や や : ± 3～5%台
 かなり : ± 6～15%台
 大 幅 : ± 16%以上

○ 名古屋中央卸売市場（品目：ぎんなん）

	入 荷 量 (t)	卸 売 価 格 (円/kg)		前年の主な他産地 (上位3産地)	
		うち愛知産	愛知産		
元年実績	91	91 (99%)	957	953	— — —
2年見通し	80	—	700	—	
概要と見通し		卸売市場から産地への要望・提言等			
<p>本県の主要2品種である早生品種の「久寿」は7月下旬から10月末まで、晩生品種の「藤九郎」は10月上旬から12月末まで入荷する。本年は猛暑の影響による着果不良等で久寿が不作となり、入荷量は平年を下回る見込み。藤九郎は前年並の入荷量を見込む。新型コロナウイルス感染症の影響で業務需要が落ち込み、販売状況は厳しい。入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>		<p>ぎんなんは愛知の特産品で全国一の産地でもある。産地の作付面積は微減傾向にあり、生産者は高齢化しているが、消費者からは大玉が好まれるため、大玉の生産に重点を置いた栽培管理をお願いしたい。</p>			

○ 東京都中央卸売市場（品目：カリフラワー）

	入 荷 量 (t)	卸 売 価 格 (円/kg)		前年の主な他産地 (上位3産地)	
		うち愛知産	愛知産		
元年実績	3,478	200 (6%)	270	239	茨城 (18%) 長野 (15%) 新潟 (13%)
2年見通し	3,600	—	265	—	
概要と見通し		卸売市場から産地への要望・提言等			
<p>本県産の入荷は10月から始まり、例年、厳寒期の12月～2月にピークを迎えながら5月まで続く。 本年の9月は干ばつの影響で量が少なく高値で推移したが、10月に入り生育不良から回復基調となり入荷量がまとまるに伴い価格は落ちてきている。11月に入ると高値の反動で安値になるおそれがある。 11月以降の気温や天候により入荷量は大きく左右されるため、今後の相場の展開も天候により左右されることとなる。 入荷量は前年をやや上回り、価格は前年並となる見込み。</p>		<p>花野菜の需要が年々高まっており、カリフラワーの注文も増加している。どの階級にも固定客がついており、引き続き8玉中心にバランスのとれた出荷、安定した出荷をお願いしたい。本県産の品質は高いが、終盤期には品質の劣化が見られたので注意して欲しい。 また、例年となりつつある暖冬に備えて、今後も週間提案の販売を考える必要がある。そのため、来週、再来週の情報を正確に教えてもらいたい。 ロマネスコや色付きのものは、クリスマス前と成人式の時期にのみ需要が高まるため、それに応じた出荷を心がけて欲しい。</p>			

名古屋・東京市場における青果物の11月の見通し

名古屋市中央卸売市場

10月16日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)		
			上旬	中旬	下旬			
野菜計	27年	35,109	177	177	162	北海道	35%	
	28年	31,265	267	277	236	愛知	14%	
	29年	34,397	236	237	232	茨城	14%	
	30年	34,369	214	211	191	長野	9%	
	元年	34,918	210	219	205	青森	4%	
	5ヵ年平均	34,012	221	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き		
	2年見通し	34,200	211	—	—			
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し								
<p>北海道、愛知、茨城などが中心となる。台風被害がなく、生育順調な品目が多い。愛知、茨城、西南暖地も生育順調で、多くの品目で前年の入荷量を上回る見込み。北海道の入荷量は前年を下回るか。入荷量は前年をわずかに下回り、単価は前年並の見込み。</p>								
だいこん	27年	2,210	60	81	57	50	千葉	38%
	28年	1,830	145	157	166	116	愛知	29%
	29年	2,024	118	103	126	137	青森	12%
	30年	2,273	68	84	64	61	鹿児島	7%
	元年	2,025	101	107	109	96	長崎	3%
	5ヵ年平均	2,072	96	104	101	90	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	2年見通し	2,000	110	110	110			
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し								
<p>愛知、千葉を中心に青森などから入荷する。愛知は作付面積が減少傾向にあり、ゲリラ豪雨の影響はあるものの入荷時期には順調になる見込み。千葉は前倒しで小玉傾向にあり、入荷量は前年を下回るか。入荷量は前年並で、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>								
にんじん	27年	1,672	135	135	143	129	北海道	61%
	28年	1,702	195	241	232	147	岐阜	14%
	29年	2,080	139	147	143	135	愛知	14%
	30年	1,515	174	235	160	121	青森	8%
	元年	2,157	107	102	121	102	富山	1%
	5ヵ年平均	1,825	147	166	157	126	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	2年見通し	1,700	170	200	180	150		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し								
<p>北海道を中心に愛知、岐阜などから入荷する。北海道は今年の暑さの影響で切り上がりやすいか。愛知は作付面積が若干減している。は種後の雨の影響で蒔き直し等があったものの前年並の入荷を見込む。入荷量は前年を大幅に下回り、価格は安値だった前年を大幅に上回る見込み。</p>								

注) 「ねぎ」は「こねぎ」を含む。
「なす」は「長なす」と「べいなす」を含む。

東京都中央卸売市場

10月28日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
野菜計	27年	127,700	195	209	188	188	茨城 20%
	28年	120,580	290	310	295	266	北海道 20%
	29年	122,707	269	264	265	279	千葉 15%
	30年	126,889	224	248	215	207	長野 4%
	元年	124,404	239	236	245	238	群馬 4%
	5ヵ年平均	124,456	243	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2年見通し	127,000	210	—	—	—	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
台風被害なく生育良好な品目多い。一部品目は夏季の高温、干ばつや日照不足、10月の低温の影響で出方が少ないも、次第に回復に向かう見込み。端境の谷間は小さく潤沢な入荷となり厳しい相場展開か。 入荷量は前年をわずかに上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。							
だいこん	27年	12,726	54	71	51	41	千葉 58%
	28年	12,485	124	141	136	95	神奈川 17%
	29年	11,497	105	89	105	123	青森 8%
	30年	12,873	59	74	53	49	茨城 8%
	元年	10,886	97	100	99	91	岩手 2%
	5ヵ年平均	12,093	87	95	88	78	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2年見通し	12,300	80	85	80	75	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
千葉、神奈川からの入荷が中心となる。は種時の高温、干ばつや9月の日照不足等の影響は一部であるも、その後の生育は順調で問題なく出荷が続くと見込まれる。 入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。							
にんじん	27年	7,686	124	121	133	120	北海道 47%
	28年	6,912	211	233	227	180	千葉 33%
	29年	7,165	137	130	146	134	青森 10%
	30年	7,182	117	220	185	131	埼玉 5%
	元年	7,407	118	101	117	137	中国 2%
	5ヵ年平均	7,270	140	160	160	140	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2年見通し	7,300	130	140	130	120	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
北海道、千葉からの入荷が中心となる。終盤の北海道は細物傾向解消も切り上がり早まる。千葉は干ばつ等による生育遅れや日照不足による肥大不足で出荷量の増加ペースが遅く、一時期品薄となるか。 入荷量は前年並となり、価格は前年をかなり上回る見込み。							

名古屋市中央卸売市場

10月16日現在

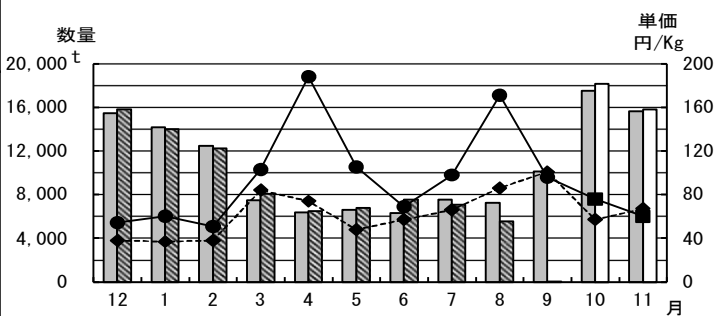
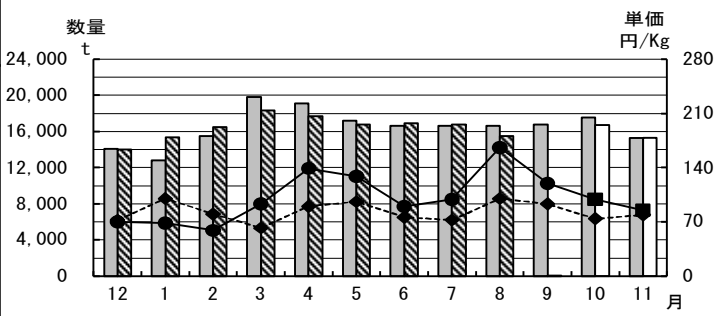
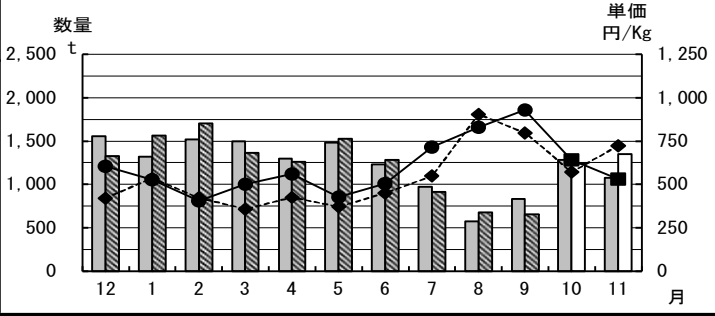
単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)		
			上旬	中旬	下旬			
ほうき	27年	3,535	51	66	50	39	茨城 55%	
	28年	3,131	144	200	139	103	長野 32%	
	29年	3,906	105	82	108	128	愛知 11%	
	30年	4,255	64	83	62	48	岐阜 1%	
	元年	4,289	78	72	84	79	山梨 1%	
	5ヵ年平均	3,823	86	96	87	79	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	2年見通し	4,200	80	80	80			
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							<p>茨城を中心に長野、愛知から入荷する。茨城と愛知はともに生育順調で、入荷物は大き玉傾向か。茨城は上中旬に入荷ピークを迎える。長野の残量は中旬までに終了する見通し。 入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年をわずかに上回る見込み。</p>
	キヤベツ	27年	3,285	80	119	75	50	愛知 44%
28年		3,130	178	248	184	121	茨城 34%	
29年		3,711	111	102	111	120	長野 8%	
30年		3,707	88	116	75	77	北海道 5%	
元年		3,418	80	77	89	78	秋田 2%	
5ヵ年平均		3,450	106	130	105	89	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
2年見通し		3,500	80	80	80			
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							<p>愛知、茨城を中心に入荷する。両産地ともに生育順調で、長野は残量の入荷となる。愛知の作付面積は前年並で、定植時期の雨の影響で根痛み等が見られたものの回復し、前年並の入荷を見込む。 入荷量は前年をわずかに上回り、価格は安値だった前年並の見込み。</p>	
ほうれんそう		27年	428	260	391	252	219	岐阜 46%
	28年	296	596	721	731	453	愛知 32%	
	29年	162	969	1,086	955	892	茨城 8%	
	30年	380	424	533	357	397	長野 5%	
	元年	269	685	747	772	580	静岡 2%	
	5ヵ年平均	307	515	625	536	442	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	2年見通し	330	500	600	500	400		
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							<p>上旬は岐阜を中心に、中旬以降は愛知、茨城、静岡などから入荷する。愛知は作付面積が微減傾向で、高温期のは種による発芽不良が懸念されるものの、入荷量は少なかった前年を大幅に上回る見込み。 入荷量は前年を大幅に上回り、価格は高値だった前年を大幅に下回る見込み。</p>

東京都中央卸売市場

10月28日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)		
			上旬	中旬	下旬			
ほうき	27年	11,706	47	60	45	35	茨城 73%	
	28年	14,560	116	151	114	85	長野 18%	
	29年	15,800	81	60	78	104	群馬 5%	
	30年	15,001	51	72	43	36	北海道 1%	
	元年	15,639	67	62	68	71	山梨 1%	
	5ヵ年平均	14,541	73	81	71	68	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	2年見通し	15,800	60	60	60			
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>茨城を中心に長野からの入荷となる。長野は残量十分で、ピークを迎える茨城は前年は台風と大雨の影響で病害発生が多かったが、今年は9月以降の適度な降雨により生育良好。潤沢な入荷が見込まれる。 入荷量は前年並となり、価格は前年をかなり下回る見込み。</p> 					
	キヤベツ	27年	13,583	83	114	81	57	千葉 34%
28年		13,717	172	226	175	121	茨城 23%	
29年		14,193	105	96	101	119	愛知 21%	
30年		15,335	84	103	73	75	群馬 9%	
元年		15,307	79	73	89	77	神奈川 5%	
5ヵ年平均		14,427	104	121	103	89	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
2年見通し		15,300	85	90	85	80		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>千葉、茨城、本県からの入荷が中心となる。一部では生育遅れや結球遅れがみられるも、適度な降雨により各産地おおむね生育良好。潤沢な入荷が続く、前年ほどではないにせよ相場展開は苦しいか。 入荷量は前年並となり、価格は安かった前年をかなり上回る見込み。</p> 						
ほうれんそう		27年	1,895	295	342	273	272	群馬 37%
	28年	1,292	612	689	674	501	茨城 23%	
	29年	798	927	920	891	976	栃木 12%	
	30年	1,846	363	434	301	357	長野 5%	
	元年	1,072	723	773	776	640	埼玉 4%	
	5ヵ年平均	1,381	512	565	505	476	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	2年見通し	1,350	530	520	530	540		
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>群馬、茨城など関東産地からの入荷がほとんどとなる。前年は台風と大雨で入荷減だったが、今年は一部産地で高温による生育不良がみられるものの、おおむね順調な生育。平年並の入荷が見込まれる。 入荷量は前年を大幅に上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p> 					

名古屋市中央卸売市場

10月16日現在

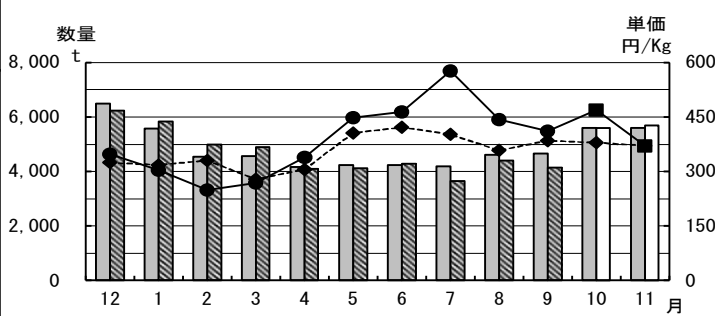
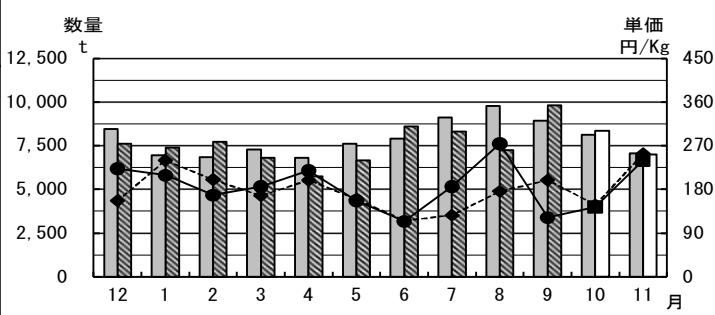
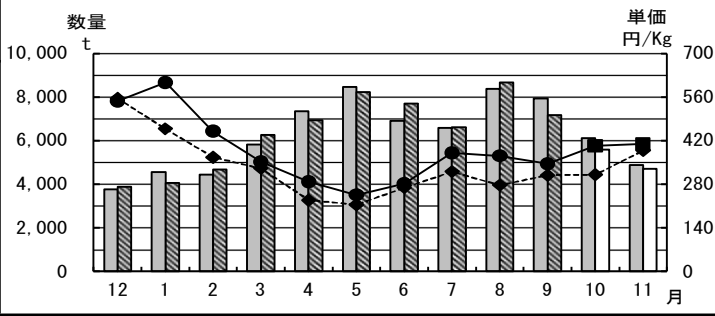
単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ねぎ	27年	1,219	297	280	305	325	長野 26%
	28年	1,149	423	426	453	398	北海道 21%
	29年	1,194	426	433	401	457	富山 11%
	30年	1,144	379	424	360	351	秋田 7%
	元年	1,170	388	386	377	403	鳥取 7%
	5ヵ年平均	1,175	382	389	378	387	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2年見通し	1,150	390	400	400	370	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>長野、北海道、富山などから入荷する。各産地ともに夏の長雨や高温・干ばつによる生育遅れがみられたが、順調な入荷を見込む。北海道の長ねぎは中旬頃に終了。長野の白ねぎは前年並の入荷量を見込む。入荷量と価格はともに前年並となる見込み。</p>					
し	27年	2,002	127	135	111	140	
	28年	1,612	290	317	290	261	茨城 22%
	29年	1,279	439	434	366	535	愛知 10%
	30年	1,813	161	191	148	141	長崎 7%
	元年	1,626	267	275	276	250	熊本 4%
	5ヵ年平均	1,666	241	256	225	246	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2年見通し	1,800	180	200	180	160	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>茨城、兵庫を中心に愛知などから入荷する。各産地ともに生育良好で、多かつた一昨年並の入荷を見込む。愛知は作付面積が微増傾向で、一部害虫による品質低下が懸念されるものの入荷量は平年並の見込み。入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>					
きゅうり	27年	941	291	255	258	386	
	28年	876	448	537	467	367	宮崎 21%
	29年	797	494	237	288	272	高知 12%
	30年	1,111	324	356	299	321	群馬 10%
	元年	1,114	362	475	348	296	長野 5%
	5ヵ年平均	968	377	377	331	328	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2年見通し	1,000	370	430	350	330	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>愛知、群馬、宮崎、高知などを中心に入荷する。群馬と山梨の抑制産地は気温の低下と日照の減少に伴い、入荷減となるか。後続の愛知、高知、宮崎の促成産地は作柄良好で、入荷は下旬には安定する見込み。入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年をわずかに上回る見込み。</p>					

東京都中央卸売市場

10月28日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ねぎ	27年	5,598	279	273	277	287	秋田 16%
	28年	5,178	349	368	372	310	青森 13%
	29年	5,669	407	387	384	452	茨城 10%
	30年	5,680	353	400	326	332	北海道 8%
	元年	5,608	371	360	357	394	栃木 8%
	5ヵ年平均	5,547	352	358	343	356	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2年見通し	5,700	370	400	360	350	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>秋田、青森、茨城などからの入荷が中心となる。各産地とも7月の長雨、8月の高温、乾燥傾向により生育は遅れ気味も不足感ない出回りを見込む。現状は肥大良くないが、天候の回復により2L比率高まるか。入荷量、価格ともに前年並となる見込み。</p>					
<p>茨城を中心として、秋田、青森、茨城などからの入荷が中心となる。各産地とも7月の長雨、8月の高温、乾燥傾向により生育は遅れ気味も不足感ない出回りを見込む。現状は肥大良くないが、天候の回復により2L比率高まるか。入荷量、価格ともに前年並となる見込み。</p>							
し	27年	8,563	117	128	94	132	茨城 43%
	28年	6,827	284	303	295	253	兵庫 14%
	29年	5,117	454	412	401	570	長崎 13%
	30年	7,505	144	184	137	114	香川 9%
	元年	7,075	253	255	262	242	福岡 6%
	5ヵ年平均	7,017	232	241	221	238	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2年見通し	7,000	240	250	240	230	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>茨城を中心に兵庫、長崎などからの入荷となる。各産地とも生育期の天候に恵まれ、生育は順調。兵庫では定植遅れに伴い生育遅れがあるも、中旬以降に増量していく見込み。入荷量は前年並となり、価格は前年をやや下回る見込み。</p>					
<p>茨城を中心として、秋田、青森、茨城などからの入荷が中心となる。各産地とも7月の長雨、8月の高温、乾燥傾向により生育は遅れ気味も不足感ない出回りを見込む。現状は肥大良くないが、天候の回復により2L比率高まるか。入荷量、価格ともに前年並となる見込み。</p>							
きゅうり	27年	4,784	305	249	269	418	埼玉 25%
	28年	4,432	449	500	460	391	宮崎 23%
	29年	4,507	476	546	394	491	群馬 22%
	30年	4,870	332	350	313	331	千葉 8%
	元年	4,884	388	456	386	330	高知 7%
	5ヵ年平均	4,695	388	417	363	391	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2年見通し	4,700	410	440	410	380	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>埼玉、群馬から宮崎、千葉へと、関東内陸から西南暖地に産地の切り替えが進む。先行産地は草勢低下し着果少なく、上旬の出回りは少なめか。後続産地は生育良好で潤沢な入荷を見込む。入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をやや上回る見込み。</p>					
<p>茨城を中心として、秋田、青森、茨城などからの入荷が中心となる。各産地とも7月の長雨、8月の高温、乾燥傾向により生育は遅れ気味も不足感ない出回りを見込む。現状は肥大良くないが、天候の回復により2L比率高まるか。入荷量、価格ともに前年並となる見込み。</p>							

名古屋市中央卸売市場

10月16日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
な す	27年	469	346	335	347	365	熊本 54%
	28年	428	453	405	491	477	愛知 38%
	29年	363	507	513	513	501	高知 4%
	30年	474	404	427	387	397	山梨 1%
	元年	460	425	387	450	442	徳島 1%
	5ヵ年平均	439	423	409	433	432	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2年見通し	440	400	400	400	400	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>熊本、愛知を中心に入荷する。熊本の長なすは作柄良好で、入荷量は多かった前年並の見込み。愛知は産地の一部で定植作業が遅れたものの生育順調で、前年並の入荷を見込む。夏秋作は早く切り上がるか。入荷量と価格はともに前年をやや下回る見込み。</p>					
ト マ ト	27年	1,361	267	336	261	219	熊本 39%
	28年	761	572	541	541	654	愛知 25%
	29年	1,014	417	418	400	439	岐阜 18%
	30年	931	449	564	432	357	三重 13%
	元年	769	486	429	537	487	大分 1%
	5ヵ年平均	967	416	444	411	403	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2年見通し	900	426	450	430	400	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>熊本、愛知などを中心に入荷する。熊本は生育良好。愛知は品種の変更はあるものの作付面積は前年並。7月の日照不足と8月の高温の影響で着花不良が見られ、年内の入荷量は少なめか。全体的に小玉傾向。入荷量は前年を大幅に上回り、価格は高値だった前年をかなり下回る見込み。</p>					
ミ ニ ト マ ト	27年	453	580	772	582	443	熊本 51%
	28年	276	1,122	1,126	1,087	1,150	愛知 35%
	29年	360	779	832	714	791	宮崎 4%
	30年	436	801	968	879	632	北海道 4%
	元年	348	842	830	850	847	和歌山 2%
	5ヵ年平均	375	798	892	801	733	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2年見通し	380	780	850	800	700	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>愛知、熊本を中心に入荷する。夏秋作が終了し、10月後半から愛知と熊本の秋冬作が中心となる。両産地ともに順調な入荷を見込むが、愛知は8月の高温による生育不良が懸念される。入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>					

東京都中央卸売市場

10月28日現在

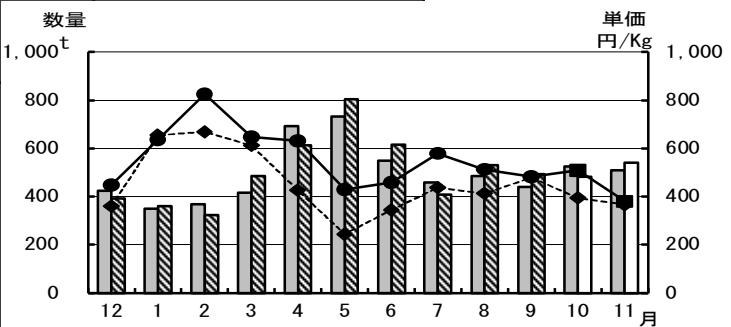
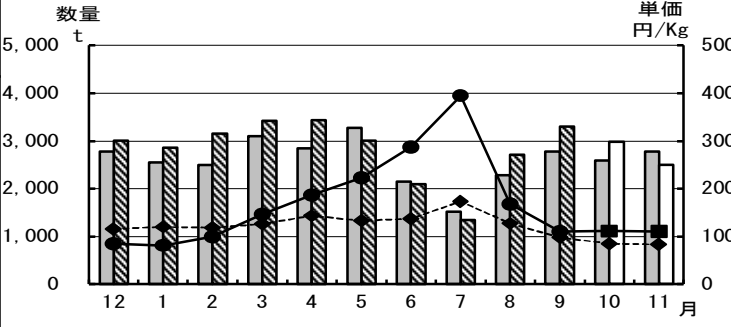
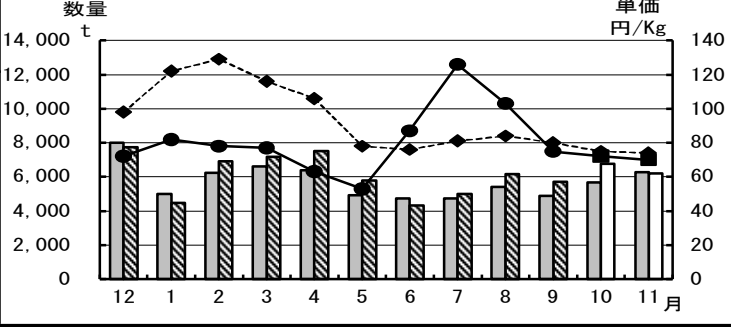
単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
な す	27年	2,600	343	311	354	371	高知 59%
	28年	2,290	483	434	504	481	福岡 13%
	29年	1,906	580	605	579	553	熊本 8%
	30年	2,566	393	399	367	416	栃木 8%
	元年	2,316	467	454	495	455	群馬 6%
	5ヵ年平均	2,336	445	431	451	449	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2年見通し	2,300	440	450	440	430	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>高知を中心に福岡などから入荷する。関東産地から高知など西南暖地に切り替わる。9月の日照不足等の影響あるも生育はおおむね順調。10月の曇天や低温も着果良好で、入荷は順次増加すると見込む。入荷量は前年並で、価格は前年をやや下回る見込み。</p>					
<p>高知を中心に福岡などから入荷する。関東産地から高知など西南暖地に切り替わる。9月の日照不足等の影響あるも生育はおおむね順調。10月の曇天や低温も着果良好で、入荷は順次増加すると見込む。入荷量は前年並で、価格は前年をやや下回る見込み。</p>							
ト マ ト	27年	6,903	292	359	278	252	熊本 34%
	28年	3,912	624	589	605	690	愛知 15%
	29年	5,235	437	405	425	491	千葉 13%
	30年	5,024	465	544	463	397	栃木 11%
	元年	4,115	538	474	583	555	静岡 4%
	5ヵ年平均	5,038	448	460	446	448	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2年見通し	4,300	480	500	480	460	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>熊本、本県、千葉からの入荷が中心となる。8月の高温による着果不良や、その後の日照不足、着果負担による草勢低下がみられるも、天候が良くなれば回復するため、中旬以降の増量となるか。入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>					
<p>熊本、本県、千葉からの入荷が中心となる。8月の高温による着果不良や、その後の日照不足、着果負担による草勢低下がみられるも、天候が良くなれば回復するため、中旬以降の増量となるか。入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>							
ミ ニ ト マ ト	27年	2,137	551	709	531	432	熊本 36%
	28年	1,216	1,061	1,072	1,009	1,099	愛知 17%
	29年	1,730	725	769	660	747	茨城 9%
	30年	1,803	761	924	813	590	千葉 6%
	元年	1,769	794	788	788	805	静岡 5%
	5ヵ年平均	1,731	751	833	735	698	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2年見通し	1,800	790	930	790	650	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>熊本、本県などからの入荷が中心となる。各産地とも生育は概ね順調。8月の高温や9月の日照不足による着果不良から脱し、中旬以降に入荷を伸ばすか。入荷量、価格ともに前年並となる見込み。</p>					
<p>熊本、本県などからの入荷が中心となる。各産地とも生育は概ね順調。8月の高温や9月の日照不足による着果不良から脱し、中旬以降に入荷を伸ばすか。入荷量、価格ともに前年並となる見込み。</p>							

名古屋市中央卸売市場

10月16日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ピーマン	27年	549	228	267	236	252	鹿児島 41%
	28年	394	584	631	614	521	宮崎 26%
	29年	381	602	691	615	510	茨城 18%
	30年	628	415	556	411	330	高知 14%
	元年	509	366	383	392	393	青森 1%
	5ヵ年平均	492	419	489	432	384	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2年見通し	540	380	380	380	380	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>鹿児島、宮崎を中心に茨城などから入荷する。鹿児島や宮崎などの西南暖地は生育順調で、安定した入荷を見込む。茨城は定植時の高温により生育遅延がみられる。入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年をやや上回る見込み。</p>					
ばれいしょ	27年	2,685	97	99	99	98	北海道 99%
	28年	2,442	171	161	175	180	長崎 1%
	29年	2,446	106	99	109	108	
	30年	2,396	119	117	120	118	
	元年	2,783	83	82	84	83	
	5ヵ年平均	2,550	114	111	116	116	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2年見通し	2,500	110	105	110	115	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>北海道を中心に、長崎の秋作が一部入荷する。北海道は大玉傾向だが、玉つきが少なく、入荷量は前年を下回る見込み。長崎は中旬以降の入荷となる。入荷量は前年をかなり下回り、価格は安値だった前年を大幅に上回る見込み。</p>					
たまねぎ	27年	6,159	68	73	71	69	北海道 99%
	28年	6,351	67	70	69	66	
	29年	7,322	74	75	81	73	
	30年	6,064	95	96	99	93	
	元年	6,272	74	78	75	72	
	5ヵ年平均	6,434	75	78	79	74	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2年見通し	6,200	70	70	70	70	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>北海道からほぼ全量を入荷する。北海道は昨年に続き豊作傾向。生育は順調で、L大サイズ中心の入荷となる。入荷量が多いため、販売状況は厳しいか。入荷量は前年並で、価格は前年をやや下回る見込み。</p>					

東京都中央卸売市場

10月28日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ピーマン	27年	1,901	262	292	241	250	茨城 46%
	28年	1,723	556	584	601	496	宮崎 27%
	29年	1,592	616	661	637	559	高知 13%
	30年	2,001	421	519	396	345	鹿児島 8%
	元年	2,048	413	411	419	411	岩手 4%
	5ヵ年平均	1,853	445	485	449	405	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2年見通し	2,000	480	550	450	440	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>茨城を中心に宮崎、高知からの入荷となる。主力の茨城は曇天、低温の影響で着果、肥大が悪いが、今後の回復を見込む。宮崎、高知も日照不足の影響でやや生育遅れるも、中旬には増加すると見込まれる。入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p>					
ばれいしょ	27年	7,069	98	100	96	97	北海道 99%
	28年	7,235	170	161	169	181	長崎 1%
	29年	7,453	103	100	102	108	
	30年	6,209	121	119	124	121	
	元年	7,536	89	91	88	88	
	5ヵ年平均	7,100	116	114	115	119	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2年見通し	6,900	120	120	120	120	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>北海道からの入荷がほとんどを占める。前年は豊作基調だったが、今年は玉数少なく大玉傾向。貯蔵から計画的に進められる入荷は前年より少ないと見込まれ、強めの相場となるか。入荷量は多かった前年をかなり下回り、価格は安値の前年を大幅に上回る見込み。</p>					
たまねぎ	27年	9,265	73	75	73	73	北海道 96%
	28年	10,732	74	75	73	73	中国 3%
	29年	11,577	82	79	82	85	佐賀 1%
	30年	9,818	107	104	108	111	
	元年	9,216	79	80	79	80	
	5ヵ年平均	10,122	83	82	83	84	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2年見通し	9,200	75	75	75	75	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>北海道からの入荷がほとんどを占める。生育は順調で豊作基調。肥大良好でL大中心の入荷となる見込み。入庫作業も進み、不足感のない出回りが予想される。入荷量は前年並となり、価格は前年をやや下回る見込み。</p>					

名古屋市中央卸売市場

10月16日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
果	27年	10,847	282	278	285	297	静岡 14%
	28年	10,314	314	317	316	316	フィリピン 11%
	29年	10,235	307	285	319	330	長野 11%
	30年	10,475	299	311	304	296	岐阜 11%
	元年	9,651	320	311	333	330	和歌山 11%
	5ヵ年平均	10,305	304	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2年見通し	10,100	250	—	—	—	
実計	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	みかん、かき、りんごなどが主な品目となる。りんごの入荷量は前年並で、価格は前年を大幅に下回る見込み。サンふじは下旬頃からの入荷を見込むが、着果量が多く、小玉傾向が懸念される。入荷量は前年をやや上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。						
み	27年	3,709	224	247	220	213	静岡 35%
	28年	4,077	259	276	269	244	和歌山 18%
	29年	3,829	271	243	286	285	熊本 17%
	30年	4,263	229	258	239	206	愛知 13%
	元年	3,846	244	240	263	242	三重 9%
	5ヵ年平均	3,945	245	253	255	238	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2年見通し	4,000	250	250	240	240	
みかん	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	静岡を中心に、熊本、和歌山、愛知などから入荷する。今年は表年であるが、入荷が本格化する早生系は高温の影響で日焼果や生理落果が多くみられ、当初の入荷量はやや少ないか。入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をわずかに上回る見込み。						
か	27年	2,491	238	219	245	257	岐阜 61%
	28年	2,380	277	265	269	291	和歌山 20%
	29年	2,285	269	244	282	282	愛知 10%
	30年	2,032	265	246	276	274	三重 7%
	元年	1,752	282	260	286	305	福島 1%
	5ヵ年平均	2,188	265	246	270	280	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2年見通し	1,950	270	260	280	280	
かき	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	岐阜を中心に愛知、和歌山などから入荷する。前年は雹害の影響等で入荷量が減少し、高値となった。愛知の次郎柿は上旬にピークを迎え、入荷量は前年を大幅に上回る見込み。入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年をやや下回る見込み。			注：前年の6月、本年の5～6月は入荷なしにつき単価を0円/kgで表記			

東京都中央卸売市場

10月31日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
果	27年	44,022	296	277	295	316	愛媛 17%
	28年	44,604	332	352	322	315	熊本 9%
	29年	46,108	316	292	315	340	長崎 9%
	30年	42,493	329	322	323	341	和歌山 9%
	元年	43,802	333	318	335	341	青森 8%
	5ヵ年平均 2年見通し	44,206 44,000	321 340	— —	— —	— —	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
実計	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	みかん、りんご、かきなどが入荷する。りんごは台風被害なく、各産地から順調に入荷して価格も落ち着く見込み。いちごは高温の影響で花芽分化が遅れ、5日程度の遅れが見られる。入荷量は前年並となり、価格は前年をわずかに上回る見込み。						
みかん	27年	20,495	244	246	247	239	愛媛 32%
	28年	21,222	289	254	239	238	長崎 19%
	29年	21,584	270	245	275	281	熊本 18%
	30年	21,334	273	286	275	262	和歌山 13%
	元年	20,820	264	249	273	263	佐賀 7%
	5ヵ年平均 2年見通し	21,091 21,000	268 270	256 290	262 260	257 260	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
実計	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	愛媛、長崎、熊本を中心に入荷する。一部で干ばつによる小玉や高温による日焼け果がみられるも、全体で見れば前年並の入荷となるか。増量に伴い下旬に向けて価格が下がる見込み。入荷量は前年並となり、価格は前年をわずかに上回る見込み。						
かき	27年	6,776	212	185	226	246	奈良 17%
	28年	7,370	270	274	251	272	新潟 17%
	29年	7,452	243	237	249	246	和歌山 17%
	30年	6,063	248	248	240	260	福岡 11%
	元年	6,967	266	258	270	273	愛知 10%
	5ヵ年平均 2年見通し	6,926 6,800	248 270	241 270	248 270	259 270	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
実計	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	富有が福岡等から、平核無が和歌山等からの入荷となる。各産地・品種で小玉傾向となっており、日焼け果の発生も見られることから入荷減を見込むが、引き合いは強い。入荷量は前年をわずかに下回り、価格は高かった前年並となる見込み。						

注：本年の6月は入荷なしにつき単価を0円/kgで表記

切花・鉢花の11月の見通し

切花（愛知名港花き地方卸売市場 11月1日現在）

単位：千本、円／本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
輪 ぎ	実績	27年	1,875	37	
		28年	1,826	45	
		29年	1,713	50	
		30年	1,508	40	
		元年	1,600	45	
5カ年平均		1,704	44		
2年見通し		1,500	45		
く	概要	愛知、三重、沖縄から入荷する。夏菊の出荷も落ち着き、中旬頃からは秋菊の出荷も始まる。入荷量は例年よりも少ないと予想されるが、一般需要の動きで相場が変動しそうである。			
小 ぎ	実績	27年	980	20	
		28年	753	30	
		29年	732	39	
		30年	739	29	
		元年	750	30	
5カ年平均		791	29		
2年見通し		750	30		
く	概要	愛知、奈良、沖縄から入荷する。沖縄が中旬頃から3色揃ってくるので、上旬は色バランス、入荷量等安定しないが、中旬以降は良くなってくると思われる。			
カー ネ ー シ ョ ン	実績	27年	1,144	29	
		28年	1,052	35	
		29年	1,021	46	
		30年	1,204	38	
		元年	1,100	38	
5カ年平均		1,104	37		
2年見通し		1,050	40		
く	概要	愛知、長野を中心に入荷する。暖地に関しては若干の遅れはあるものの、上位等級の発生が例年より早いと思われる。高冷地の切上りが早そうなので、輸入で補いながらの販売となる見込み。			
か す み	実績	27年	175	54	
		28年	96	159	
		29年	133	125	
		30年	102	120	
		元年	110	115	
5カ年平均		123	108		
2年見通し		120	110		
く	概要	高知、和歌山、熊本から入荷する。高冷地産は上旬にほぼ終了となる。西南暖地は台風被害もなく、中旬にはまとまった数量になりそう。			

単位：千本、円／本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ゆり	実績	27年	307	152	
		28年	262	202	
		29年	273	192	
		30年	268	178	
		元年	270	175	
	5カ年平均		276	179	
	2年見通し		260	180	
概要	<p>オリエンタルは高知、宮崎、新潟、埼玉から入荷する。コロナの影響から暖地作では11月出荷予定分の作付けを減らしている産地もあるが、中旬ぐらいからはまとまった数量になってきそう。鉄砲は高知、鳥取から入荷する。高知産は作付けを大きく減らしているため、流通量は少ない見込み。LAは平年並みの入荷となる。</p>				
洋らん	実績	27年	499	62	
		28年	515	78	
		29年	463	82	
		30年	503	69	
		元年	500	70	
	5カ年平均		496	72	
	2年見通し		450	75	
概要	<p>国内産や輸入物が入荷する。シンビは輸入が終了し、国内産も7月の長雨の影響でコンディションが良くなく、2週間程遅れている。輸入物も新型コロナウイルス感染症の影響でエア一便次第の不安定な状況が続く。</p>				
ばら	実績	27年	817	77	
		28年	851	84	
		29年	780	92	
		30年	772	76	
		元年	800	80	
	5カ年平均		804	82	
	2年見通し		750	80	
概要	<p>愛知、岐阜、三重を中心に入荷する。長雨、高温といった夏のダメージによる品質の回復が図られる。品種によって差があるが、概ね入荷は横ばいの見込み。</p>				
枝も	実績	27年	1,469	45	
		28年	1,502	46	
		29年	1,542	52	
		30年	1,396	54	
		元年	1,450	50	
	5カ年平均		1,472	49	
	2年見通し		1,400	50	
概要	<p>静岡、長野、岐阜を中心に入荷する。ヒムロヒバを中心としたヒバ類の引合いは強くなる。今年は長雨の影響から例年よりも実物は少ない。</p>				

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ドラセナ類	実績	27年	11,889	815	
		28年	11,133	719	
		29年	10,437	826	
		30年	12,114	753	
		元年	11,747	665	
	5ヵ年平均		11,464	755	
	2年見通し		11,000	682	
概要	<p>入荷量は前年より減少か。原木類の輸入減少に伴い、大鉢・中鉢が品薄になる見込み。特に4号は大幅な品薄になる予想。 前年11月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知（71.0%）、2位鹿児島（20.5%）、3位岐阜（2.3%）であった。</p>				
シヤコバサボテン	実績	27年	35,681	435	
		28年	38,321	454	
		29年	34,066	428	
		30年	41,212	415	
		元年	29,339	520	
	5ヵ年平均		35,724	447	
	2年見通し		29,000	517	
概要	<p>入荷量は全体に減少か。特に6号は相対率が上がる為に品薄となる見込み。7号以上も作付け減少に伴い減る見込み。5号以下での小鉢中心の入荷になる。 前年11月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知（78.6%）、2位埼玉（14.8%）、3位静岡（3.3%）であった。</p>				
シクラメン	実績	27年	806,976	282	
		28年	704,910	285	
		29年	847,072	271	
		30年	750,854	289	
		元年	659,736	279	
	5ヵ年平均		753,910	281	
	2年見通し		660,000	277	
概要	<p>10月の遅れ分があり、入荷量は前年より微増か。4号・5号共に作付けは例年並みだが一部夏の暑さで病気が発生している為、出荷数が大幅に減る可能性有り。 前年11月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知（28.9%）、2位群馬（14.9%）、3位長野（11.0%）であった。</p>				

単位：鉢、円／鉢

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
シンビジュウム	実績	27年	60,154	1,980	
		28年	51,430	1,977	
		29年	43,650	2,399	
		30年	44,723	1,898	
		元年	34,010	2,045	
	5ヵ年平均	46,793	2,051		
	2年見通し	44,000	1,900		
概要	<p>入荷量は前年よりやや増加か。運賃の値上げに伴い遠方の産地からの入荷にも影響が出るか。また、相場の低迷、高齢化により生産量が減少している。さらに、年々11月の気温が上がっており、販売状況も鈍くなっている。水が切れると花持ちが著しく悪くなったり、蕾が咲かない原因になる。水を2～3日おきに鉢の底から出るくらいかけていただきたい。</p> <p>前年11月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知（55.4%）、2位鹿児島（9.4%）、3位岐阜（8.2%）であった。</p>				
カランコエ	実績	27年	34,214	150	
		28年	29,780	188	
		29年	33,287	161	
		30年	27,516	186	
		元年	20,547	208	
	5ヵ年平均	29,069	175		
	2年見通し	20,000	205		
概要	<p>入荷量は生産減の為、小鉢中心に減少の見込み。価格面では入荷減から中値安定での堅調な取引になる見込み。花色が見える程度開花した状態での出荷をお願いしたい。</p> <p>前年11月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位岐阜（48.0%）、2位埼玉（45.0%）、3位三重（3.9%）であった。</p>				
パンジー	実績	27年	978,611	43	
		28年	812,441	54	
		29年	915,671	50	
		30年	911,667	50	
		元年	745,065	54	
	5ヵ年平均	872,691	50		
	2年見通し	745,000	54		
概要	<p>入荷量は前年並み、もしくはやや増加か。11月上旬から中旬までは前年並み、後半は引き合いに対してで不足する可能性有り。</p> <p>前年11月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知（30.5%）、2位奈良（22.9%）、3位三重（10.8%）であった。</p>				



いいともあいち運動って知ってる??

- 県内の消費者と生産者が今まで以上にいい友関係になる
- Eat more Aichi products (イート モア アイチ プロダクツ)

＝もっと愛知県産品を食べよう（利用しよう）

愛知県の農林水産業の振興や農山漁村の活性化を通じて県民全体の暮らしの向上を図るため、県民の方々に「愛知県農林水産業の応援団」になってもらい、消費者と生産者が一緒になって愛知県の農林水産業を支えているという「運動」です。

県民の方々に愛知県産農林水産物をもっと利用していただきたいという、「愛知県版地産地消の取組」でもあります。

あいち農産物生産流通レポート No.569
令和2年11月発行
農業水産局農政部食育消費流通課
〒460-8501
名古屋市中区三の丸三丁目1番2号
電話 (052) 954-6434